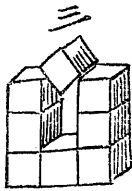
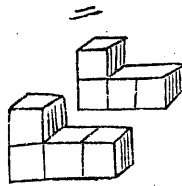
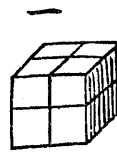


居ります、然るに不思議な事に手技ばかりは其材料として普通の物品が誠によく採用されて居る丈で、唱歌や談話などに對しては其連絡が充分でない様に思はれます、是は果して正當なことでせうか、其はもつと研究する必要はないでせうか
 近頃來ました米國の雜誌「幼稚園界」に左の一篇が出て居りました、何となく私の此疑問を解決する端緒ともなりそをに見えましたので多少翻案して譯載致します、御批評下さいまし。

◎大晦日 (談話と第一積木との結合)

米國 ラシエル、ゴッズ、スミス原作

○わたしは正月ですわね、皆さん今日お歸りなさると晩に戸を締めて、窓をし



めて寝るでせう? そらは是が家ですよ(1) 早くわたしたになるとよいございますね

○此家はメリー、とトムの家です、二人は仲のよい、はきくした、すなはなよい子であります、今夜は大晦日だからいい子には福の神があしたい、お年玉をくれますよ茲に寢床が二つあります、是方がトム、是方メリーですよ(2)
 ○それから二人のお父さんも、お母さんもわたしたの仕度が出来たので、寢様と思つて床に入りました、

○すると、窓の方に向けた、美しい音がしました、お父さんは何だらうと思つて飛び起きて窓の所へ行きました、是が窓でせう?(3)

○お父さんは窓の戸をはねあげて、外を見ましたら、一つの馬車に大勢、人が乗つて駆けて行きました、さう何が乗つて居たでせう？

是が馬車に是が馬ですよ、二匹居るでせう(4)

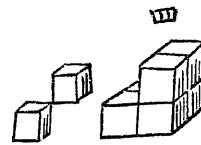
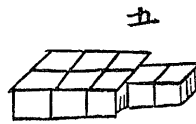
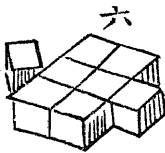
此馬車に七福人が乗つて居ましたよ、そして大きい聲で「オイ、今度は太郎

ダヨ」、「ソレカラ向フノ家ノ三郎サ」

「其次ハ此處ノトムとメリーだ」ナンテ云ツて馬車は駆けて行きました、

お父さんは「何の事だ」と云ひながら寝てしまいました

わしたの朝早く起きましたらトムの枕の枕の元に大きな尻、メリーの枕元にはき



五十四
れいな羽子板が「お年玉となつてありましたので二人は大層喜びました(5)是が羽子板で是が奴尻ですよ(6)

適材教育と幼稚園

左の一篇は伊澤修二氏の談話せられたるを日本の小學教師記者が筆記して該誌に載せられたるを参考の爲め轉載せり (記者)

人の天賦の性質及境遇上、將來如何なる業務に就くのが、よりよく成功し、よりよく幸福であるかといふことを豫見して教育することで出来たならば、これほど有功な教育はなからうと信ずる、處が實際には天稟の性能及境遇に悖戻して教育することが澤山にある。例へば生來醫者